

道場からの便り「道場紹介」(2)・・・有明剣道振興会(島原市)

有明剣道振興会の前身は、昭和28年に、少年剣道クラブ(大三東村・湯江村合同。道場名は自彊館、早稲田要衛村長剣道六段、その後、長男の有信町長自宅倉庫を改装。通称、早稲田道場と言った)として発足しました。指導者は、教員・議員・商工会員・役場関係者・駐在所警察官・有志等様々で常時7~9人在籍していました(古くは、伊藤金得氏後の東京農工大教授。宇土正秋氏島原高校体育教諭、吉村建吉氏当時六段後に諫早農高へ等々)。昭和30年には、有明村少年剣道クラブ(大三東村と湯江村合併時)、昭和36年に、有明町少年剣道クラブ(村から町に変更時)となりました。そして、昭和42年には、「本会は、剣道の奨励振興、特に青少年の健全なる指導育成を図ることを目的とする」と述べた趣意書を町民に配布し、有明町剣道振興会(会の発起人として、当時の町長・教育長・町内4校小・中学校長)の名の下に、より一層の充実が図られました。

その後、有明剣道振興会(平成の大合併時)へと名称の変遷をたどってきました。昭和42年の郡民体育大会剣道競技一般の部には、その当時の町長・助役(後の町長)・収入役(後の町長)・他指導者2名のメンバーで出場したと記録に残っています。まさに町民ごぞつての機運の高まりとなっていました。大学選手権・全国教職員大会・国民体育大会・インターハイ・玉竜旗大会・全国ねりんピック等の優勝者や優勝メンバー、そして、全日本選手権出場者も輩出しています。小・中学生の会員数は、昭和48年には145名。その前後は、100名を超え、会員数の最盛期を迎えています。令和元年度(平成31年度)現在の会員数は、小学生28名、中学生6名です。そこで、どうか当会に携わってきた先人のご苦勞を何かの形にしたい、そして、後輩達には今後の励みになればと思い、会の歴史「創部60周年 有明剣道記録史」を6年前に作成いたしました。現在、本年度で66年目を迎えています。有明町青少年育成協議会(合併前までは会長は町長)の全面的なバックアップにより始まった有明少年剣道大会(この大会を寒稽古納め会として位置づけ、現在、島原半島内の小・中学生を招待)は、来年の1月大会で第49回目を迎えます。暑中稽古・暑中稽古納め会も毎年8月下旬に行っています。これは、55年以上となります(筆者が小学4年生の時参加の記憶あり。それからも継続中)。全国中体連ではベスト8の成績も残しています。令和元年7月は、全国道場連盟大会においては、小学生団体全国ベスト16でした。先人の想い掲げ、「剣道で青少年健全育成を」「教育は継続なり」の気持ちをもって続けている最中です。

写真：有明剣道記念史



◇稽古場所：有明体育館

◇指導者：平井節朗(会長兼指導者)、田中崇統(有明中)、前田英幸、吉田東生、松本明弘、他剣道愛好者

◇稽古日時：小学生 火・木(17:00~19:00) 水(18:00~19:00) 土(9:30~12:00)

◇稽古日時：中学生 月・火・木・金(17:00~19:00) 土(9:00~12:00)

◇問い合わせ：平井節朗 TEL090-4582-1190 mail: hiraise@nifty.com

※文責：有明剣道振興会会長 平井節朗



有明剣道振興会(島原市) 全体集合写真



有明体育館での稽古風景